

# 排出削減実績報告書

排出削減事業の名称：

灯油ボイラから

国産間伐材を利用した木質バイオマスボイラへの  
更新プロジェクト

排出削減事業者名：有限会社 大都

排出削減事業共同実施者名：株式会社 FTカーボン

その他関連事業者名：

## 1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	有限会社大都
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	p-zone 大都山王店
住所	秋田県秋田市川元山下町 4-34
排出削減事業共同実施者（J-クレジット保有予定者）	
排出削減事業共同実施者名	株式会社F Tカーボン
その他関連事業者	
関連事業者名	

## 2 排出削減活動の概要

### 2.1 排出削減事業の名称

灯油ボイラから国産間伐材を利用した木質バイオマスボイラへの更新プロジェクト

### 2.2 排出削減事業の目的

灯油ボイラ 1 台を木質バイオマスボイラ 2 台へ更新する。バイオマス燃料へのエネルギー転換によって、CO2 排出量を削減する。

### 2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

木質バイオマスはカーボンニュートラルが適用され、CO2 を実質的に排出しないものとみなされるため、ボイラの燃料を灯油から木質バイオマスへ転換することにより、CO2 排出量を削減する。

### 2.4 J-クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

### 2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目

#### ①ペレットの単位発熱量のモニタリング方法・根拠資料

(変更前) ペレット供給会社の提出データ

(変更後) J-クレジット制度のデフォルト値

#### ②ペレットの単位発熱量のモニタリング対象指標の QA/QC

(変更前) 総務経理部担当者が、ペレット供給会社から毎年送付される木質ペレットの成分に関する資料をファイリングする。

(変更後) 総務経理部担当者が、J-クレジット制度のデフォルト値に変更がないか、確認する。

### 3 排出削減活動期間

#### 3.1 プロジェクト開始日

2009年12月4日

#### 3.2 モニタリング対象期間

(本報告における実績報告期間)

2016年4月1日 ～2017年12月3日

### 4 温室効果ガス排出削減量

#### 4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
001	ボイラーの更新

#### 4.2 活動量

##### 4.2.1 活動量・原単位

活動量・原単位は採用していない。

##### 4.2.2 活動量の採用根拠

活動量は採用していない。

#### 4.3 事業の範囲（バウンダリー）

バイオマスボイラ及びボイラから温水の供給を受ける設備

## 5 モニタリング対象指標

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法・ 根拠資料	(モニタリング方法に変更ある 場合、) 変更理由
$F_{\text{fuel,PJ}}$	木質バイオマス使用量	t	89.776	ペレット供給会社の請求書	変更なし
$HV_{\text{fuel,PJ}}$	木質バイオマスの単位発熱量	GJ/t	17.5 (到着ベース、 高位発熱量)	J-クレジット制度のデフォルト 値	ペレット供給会社の提出データから J-クレジット制度のデフォルト値に変更
$\varepsilon_{\text{PJ}}$	燃料転換後ボイラ効率	%	77.714 (高位発熱量)	カタログ値	変更なし
$\varepsilon_{\text{BL}}$	燃料転換前ボイラ効率	%	80.750 (高位発熱量)	カタログ値	変更なし
$CF_{\text{fuel,BL}}$	灯油の単位発熱量あたりの CO2 排出係数	tCO2/GJ	0.0686	J-クレジット制度のデフォルト 値	変更なし

## 6 排出削減量の計算

### 6.1 事業実施後排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
EM <sub>PJ</sub>			0.0 (t-CO <sub>2</sub> )

### 6.2 ベースライン排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
89.776 (t)	17.5 (GJ/t)	0.0686 (tCO <sub>2</sub> /GJ)	
77.714 (%)			
80.750 (%)			
EM <sub>BL</sub>			103.7 (t-CO <sub>2</sub> )

### 6.3 リークージ排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
			0
LE			0

### 6.4 温室効果ガス排出削減量

項目	記号	
ベースライン排出量 (7.2)	EM <sub>BL</sub>	103.7
事業実施後排出量 (7.1)	EM <sub>PJ</sub>	0.0
リークージ排出量 (7.3)	LE	0
<b>温室効果ガス排出削減量</b>	<b>ER</b>	<b>103</b>

## 7 省エネルギー量

本事業は、再生可能エネルギーを利用するプロジェクトのため、省エネルギー量はない。

## 9 再生可能エネルギー利用量

	モニタリング期間 (2016年4月1日 ~ 2017年12月3日)			
		エネルギー使用量	熱量換算 (GJ)	原油換算(kl)
	単位	(実績)	(実績)	(実績)
バイオマス利用量	t	89.776 t	1,571 GJ	40.5 kL